



ころ柿づくり

松里小学校では、毎年、全校児童がころ柿に関する資料をもとに学習会を開いたり、ころ柿づくりを行ったりして、地域の伝統を引き継いでいます。「ころ柿集会」では、ころ柿マンのお面をつけ、クイズに解答します。また、縦割り班ごとにそれぞれの家から持ち寄った柿の皮むきを行います。高学年の児童は、肩取りも自分たちで行っています。硫黄燻蒸した後、干し場つるし、柿もみなども上級生が下級生に教えながら取り組みます。



児童会による劇で、ころ柿マンの登場です。



柿のかたとりをしてから、皮をむきます。



みんなで相談して、クイズの解答をします。



全校分以上の柿を一度に干します。

1年生の取組（食育指導）

1年生では、好き嫌いがあがり、給食を残してしまう児童がいたため、栄養教諭の市川先生と担任で、「好き嫌いなくなんでも食べよう」をテーマに食育の授業を行いました。この授業を通して、子どもたちは、バランスよく食べることの大切さを学ぶことができました。



2年生の取組（生活科）

2年生では、生活科の学習で、キュウリやミニトマトなどの夏野菜とサツマイモを5月に植えました。7月には、たわわに実った野菜を収穫し、サラダパーティを開きました。また、11月には、大きく育ったサツマイモを収穫し、焼き芋にして食べ、2年生の大切な思い出になりました。



親子活動の取組

松里小学校では、学年ごとに親子活動をしています。1年生では、6月6日に給食試食会を開きました。子どもたちは、お家の人との給食をととても楽しんでいました。保護者の方も、栄養バランスのよい工夫された献立に安心した様子でした。5年生は、9月6日にフルーツポンチ作りをしました。具のフルーツのぶどうは、松里でとれたシャインマスカットを使用しました。地産の果物の美味しさを味わうことができました。6年生は、カレー作りをしました。親子みんなで食べるカレーの味は、小学校生活最後のよい思い出の味となりました。



一緒に給食を食べ、親子で楽しいひとときです。



甘くて美味しいシャインマスカットでした。



自分たちで作ったカレーは最高でした。

